

令和7年度
第11回市政モニターアンケート

「北九州市内の身近な公園に関するアンケート」

総務市民局広聴課

目 次

I	調査の概要	1
II	市政モニターの構成	1
III	調査結果	2
1	回答者の属性	2
2	身近な公園について	3
3	維持管理活動について	11
4	身近な公園に対する愛着について	14
5	総合的な満足度について	15
IV	全体考察	16

I 調査の概要

調査対象者	市政モニター102人	
回答者数	87人（回収率85.3%）	
調査実施日	令和7年12月15日～令和7年12月26日	
実施方法	インターネット調査	
調査実施課	総務市民局広聴課	TEL093-582-2527
調査依頼課	都市戦略局緑政課	TEL093-582-2466

II 市政モニターの構成

	合計	男性	女性		合計	男性	女性
全体	102 (100.0%)	44 (43.1%)	58 (56.9%)	区別			
10歳代	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	門司区	13 (12.7%)	7 (6.9%)	6 (5.9%)
20歳代	6 (5.9%)	4 (3.9%)	2 (2.0%)	小倉北区	21 (20.6%)	11 (10.8%)	10 (9.8%)
30歳代	14 (13.7%)	4 (3.9%)	10 (9.8%)	小倉南区	21 (20.6%)	8 (7.8%)	13 (12.7%)
40歳代	22 (21.6%)	7 (6.9%)	15 (14.7%)	若松区	4 (3.9%)	1 (1.0%)	3 (2.9%)
50歳代	24 (23.5%)	5 (4.9%)	19 (18.6%)	八幡東区	13 (12.7%)	7 (6.9%)	6 (5.9%)
60歳代	26 (25.5%)	17 (16.7%)	9 (8.8%)	八幡西区	23 (22.5%)	8 (7.8%)	15 (14.7%)
70歳以上	10 (9.8%)	7 (6.9%)	3 (2.9%)	戸畑区	7 (6.9%)	2 (2.0%)	5 (4.9%)

※ 数値の単位未満は四捨五入を原則としており、総数と内容の合計は一致しない場合があります。

※ 年代は令和7年4月1日時点でのものです。

Ⅲ 調査結果

1 回答者の属性

項目	回答	割合
性別		
男性	40	(46%)
女性	47	(54%)
年代		
20歳未満	0	(0%)
20代	3	(3%)
30代	11	(13%)
40代	17	(20%)
50代	20	(23%)
60代	24	(28%)
70歳以上	12	(14%)
家族構成		
単身世帯	11	(13%)
夫婦二人の一世帯世帯	29	(33%)
親と子の二世帯世帯	46	(53%)
親と子と孫の三世帯世帯	1	(1%)
その他	0	(0%)
住まい		
門司区	12	(14%)
小倉北区	19	(22%)
小倉南区	17	(20%)
若松区	3	(3%)
八幡東区	11	(13%)
八幡西区	18	(21%)
戸畑区	7	(8%)

	単身世帯	一世帯世帯 (夫婦またはパートナーと自分だけ)	二世帯世帯 (親と子)	三世帯世帯 (親と子と孫)
◆全体	11 (13%)	29 (33%)	46 (53%)	1 (1%)
◆年代別				
20代	1 (33%)	0 (0%)	2 (67%)	0 (0%)
30代	2 (18%)	1 (9%)	8 (73%)	0 (0%)
40代	1 (6%)	2 (12%)	14 (82%)	0 (0%)
50代	1 (5%)	4 (20%)	14 (70%)	1 (5%)
60代	5 (21%)	14 (58%)	5 (21%)	0 (0%)
70歳以上	1 (8%)	8 (67%)	3 (25%)	0 (0%)

- ・今回のアンケートは60代を中心に40、50代の比較的高い年齢層が多くなっています。
- ・家族構成では夫婦のみの世帯(一世帯世帯)が33%と親子の世帯(二世帯世帯)が53%を占め、回答者層の中心となっています。
- ・20～50代では親子の世帯(二世帯世帯)が70%前後となっています。60代、70歳以上では夫婦のみの世帯(一世帯世帯)が50%以上を占めています。

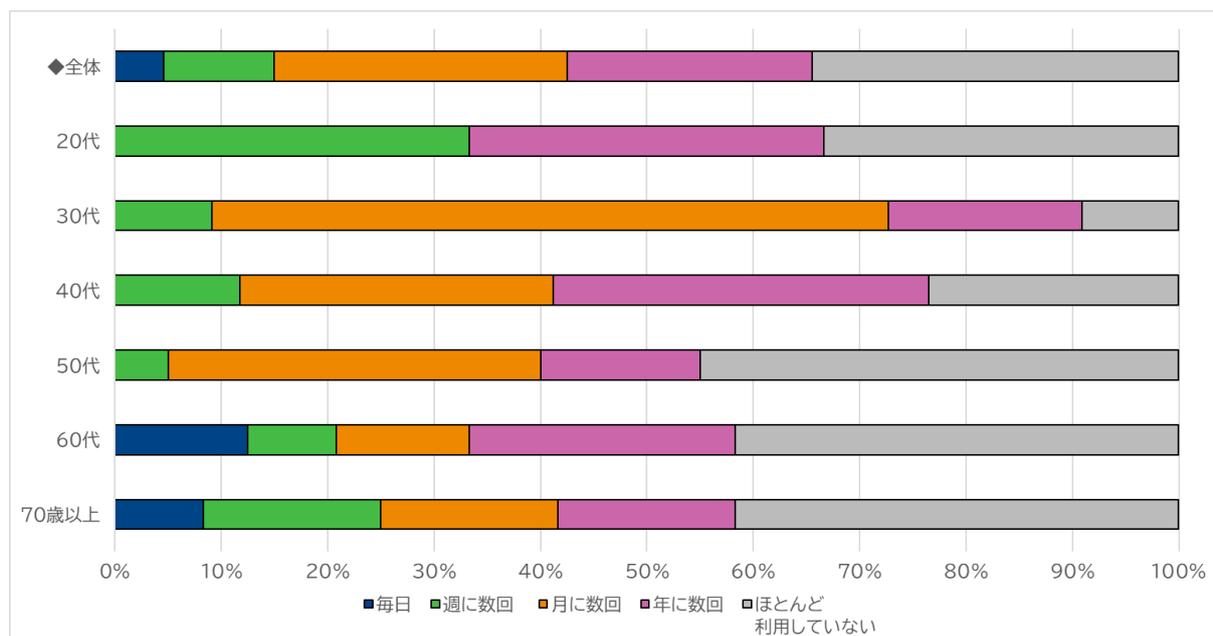
2 身近な公園について

(1) 市内の公園の利用頻度

①身近な公園の利用頻度

質問	あなたは、身近な公園(徒歩圏内にある公園)をどのくらいの頻度で利用しますか (当てはまる選択肢 1 つを回答)
----	--

	毎日	週に数回	月に数回	年に数回	ほとんど 利用していない
◆全体	4 (5%)	9 (10%)	24 (28%)	20 (23%)	30 (34%)
◆年代別					
20代	0 (0%)	1 (33%)	0 (0%)	1 (33%)	1 (33%)
30代	0 (0%)	1 (9%)	7 (64%)	2 (18%)	1 (9%)
40代	0 (0%)	2 (12%)	5 (29%)	6 (35%)	4 (24%)
50代	0 (0%)	1 (5%)	7 (35%)	3 (15%)	9 (45%)
60代	3 (13%)	2 (8%)	3 (13%)	6 (25%)	10 (42%)
70歳以上	1 (8%)	2 (17%)	2 (17%)	2 (17%)	5 (42%)

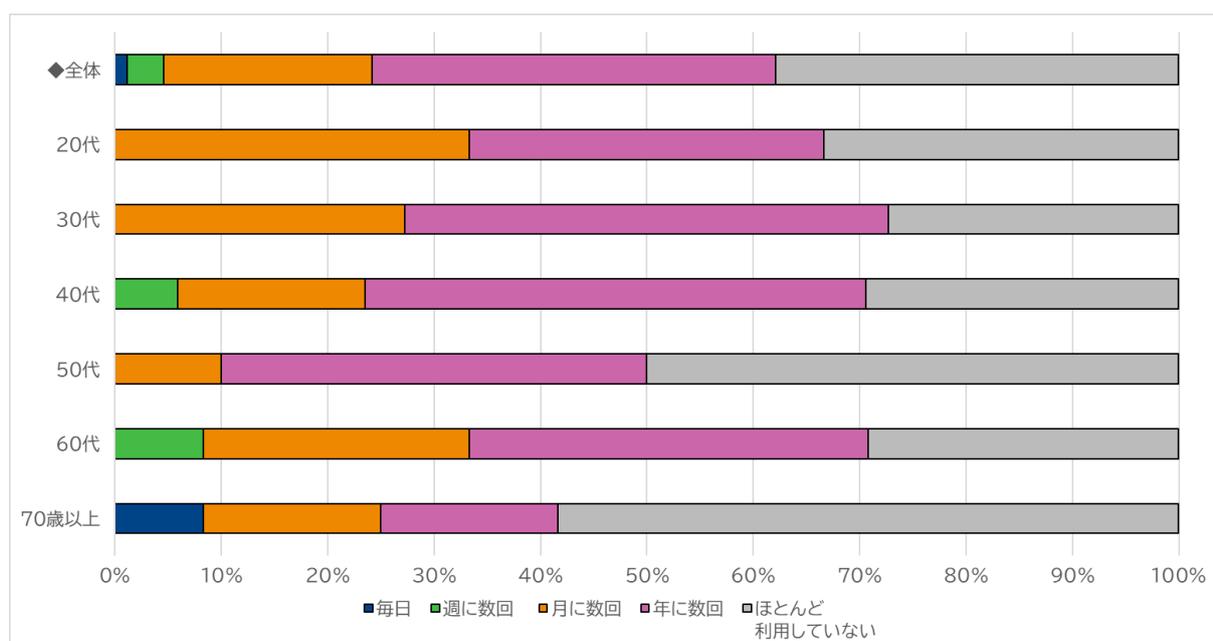


- ・全体では「ほとんど利用していない」が 34%と最も多く、次いで「月に数回」が 28%、そして「年に数回」が 23%となっています。「毎日」利用する人は 5%と少なくなっています。
- ・50代、60代、70歳以上では「ほとんど利用していない」が 40%以上と高い割合を占めています。

②市内にある公園の利用頻度

質問	あなたは、その他の市内にある公園をどのくらいの頻度で利用しますか(当てはまる選択肢1つを回答)
----	---

	毎日	週に数回	月に数回	年に数回	ほとんど利用していない
◆全体	1 (1%)	3 (3%)	17 (20%)	33 (38%)	33 (38%)
◆年代別					
20代	0 (0%)	0 (0%)	1 (33%)	1 (33%)	1 (33%)
30代	0 (0%)	0 (0%)	3 (27%)	5 (45%)	3 (27%)
40代	0 (0%)	1 (6%)	3 (18%)	8 (47%)	5 (29%)
50代	0 (0%)	0 (0%)	2 (10%)	8 (40%)	10 (50%)
60代	0 (0%)	2 (8%)	6 (25%)	9 (38%)	7 (29%)
70歳以上	1 (8%)	0 (0%)	2 (17%)	2 (17%)	7 (58%)

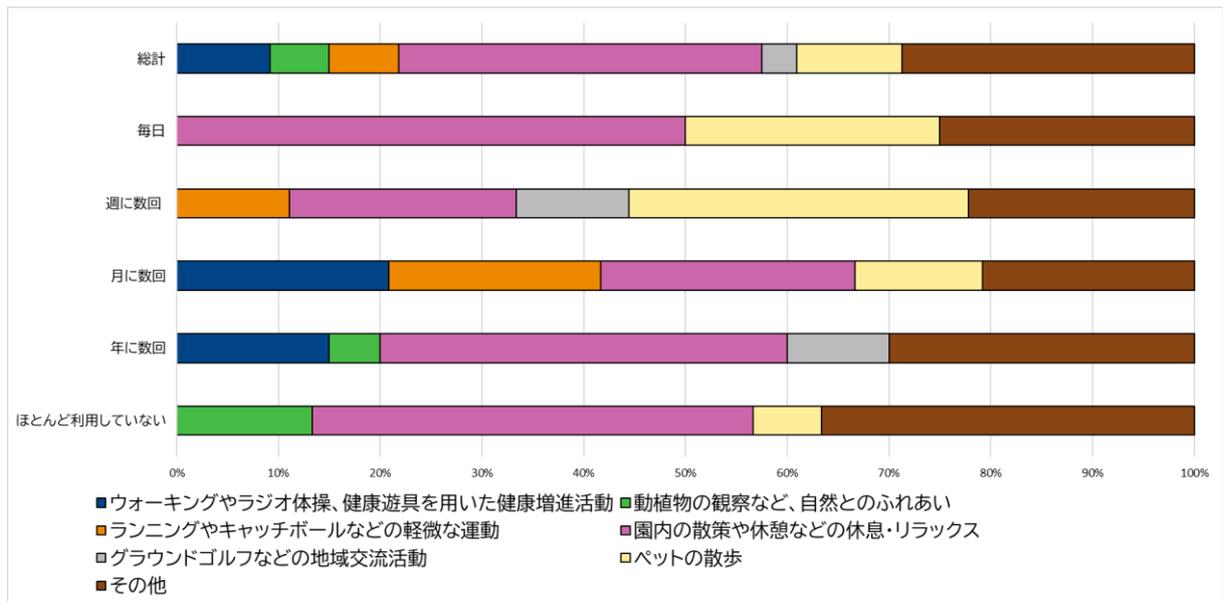


・全体では「年に数回」と「ほとんど利用していない」がそれぞれ 38%と最も多くなっています。身近な公園と比較して、さらに利用頻度が低くなっています。

(2) 身近な公園の利用目的

質問	あなたが、身近な公園を利用する目的は何ですか(当てはまる選択肢 1 つを回答)
----	---

		ウォーキングやラジオ体操、健康遊具を用いた健康増進活動	動植物の観察など、自然とのふれあい	ランニングやキャッチボールなどの軽微な運動	園内の散策や休憩などの休息・リラックス	グラウンドゴルフなどの地域交流活動	ペットの散歩	その他
身近な公園の利用頻度	総計	8 (9%)	5 (6%)	6 (7%)	31 (36%)	3 (3%)	9 (10%)	25 (29%)
	毎日	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	2 (50%)	0 (0%)	1 (25%)	1 (25%)
	週に数回	0 (0%)	0 (0%)	1 (11%)	2 (22%)	1 (11%)	3 (33%)	2 (22%)
	月に数回	5 (21%)	0 (0%)	5 (21%)	6 (25%)	0 (0%)	3 (13%)	5 (21%)
	年に数回	3 (15%)	1 (5%)	0 (0%)	8 (40%)	2 (10%)	0 (0%)	6 (30%)
	ほとんど利用していない	0 (0%)	4 (13%)	0 (0%)	13 (43%)	0 (0%)	2 (7%)	11 (37%)



・全体では「園内の散策や休憩などの休息・リラックス」が 36%と最も多くなっています。

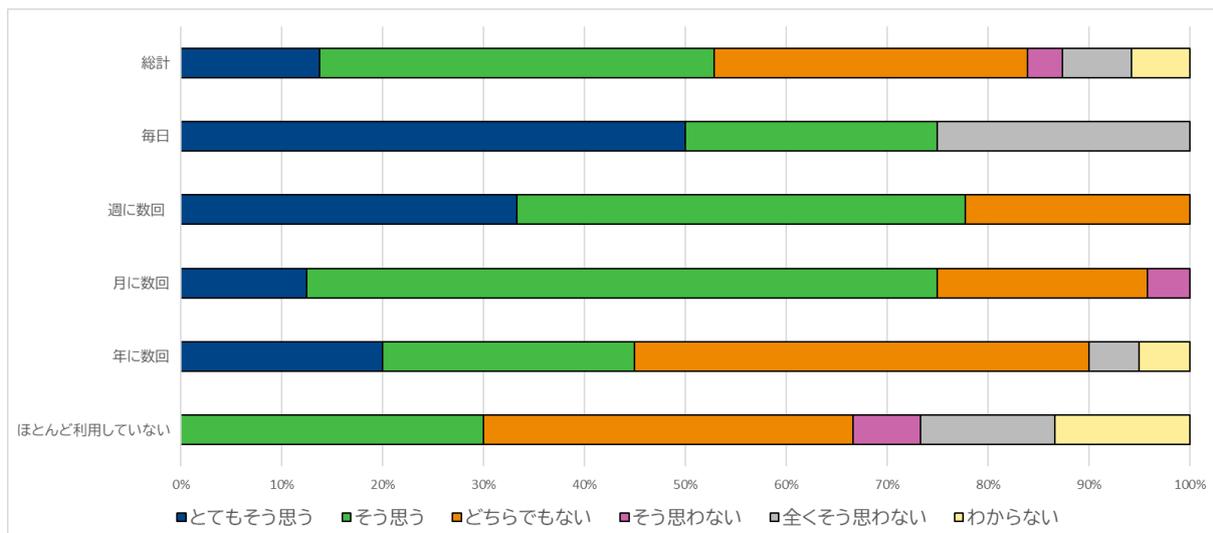
・「ほとんど利用していない」層では、利用目的として「園内の散策や休憩などの休息・リラックス」が 43%と突出しています。

(3) 身近な公園に対する評価

① 身近な公園の満足度

質問	あなたは、身近な公園に満足していますか(当てはまる選択肢 1 つを回答)
----	--------------------------------------

		とてもそう思う	そう思う	どちらでもない	そう思わない	全くそう思わない	わからない
身近な公園の利用頻度	総計	12 (14%)	34 (39%)	27 (31%)	3 (3%)	6 (7%)	5 (6%)
	毎日	2 (50%)	1 (25%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (25%)	0 (0%)
	週に数回	3 (33%)	4 (44%)	2 (22%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
	月に数回	3 (13%)	15 (63%)	5 (21%)	1 (4%)	0 (0%)	0 (0%)
	年に数回	4 (20%)	5 (25%)	9 (45%)	0 (0%)	1 (5%)	1 (5%)
	ほとんど利用していない	0 (0%)	9 (30%)	11 (37%)	2 (7%)	4 (13%)	4 (13%)

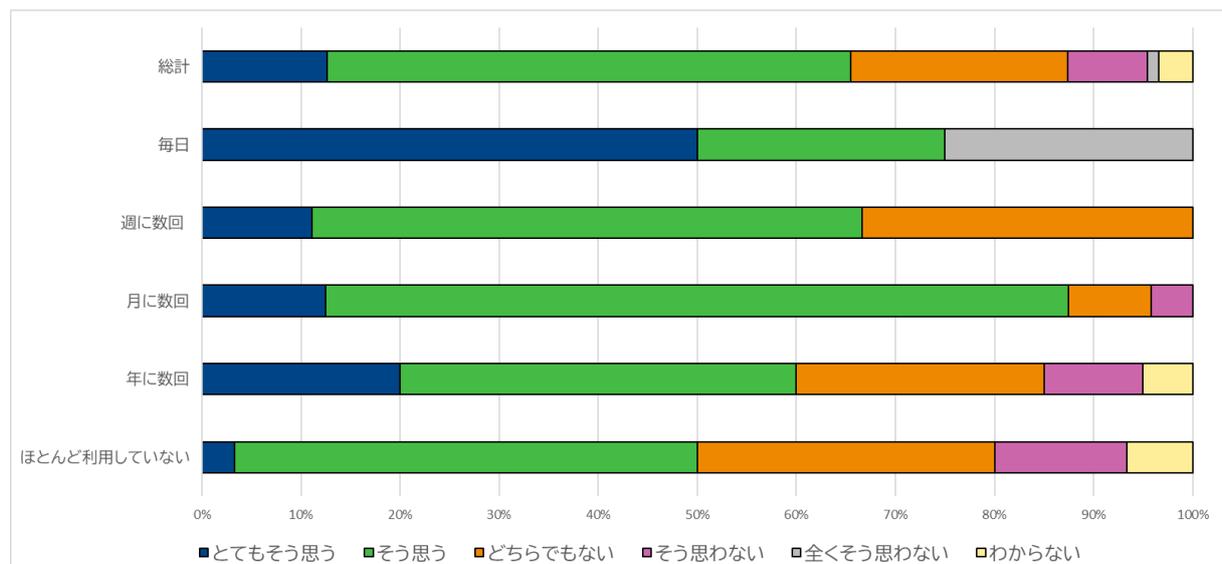


- ・全体では「そう思う」が 39%、「とてもそう思う」が 14%となっており、合計で 53%が身近な公園に満足していると感じています。
- ・「そう思わない」「全くそう思わない」は合計で 10%と比較的小さくなっています。
- ・利用頻度が高い層(毎日、週に数回)ほど満足度が高い傾向にあります。特に「毎日」利用する層では「とてもそう思う」が 50%に達しています。

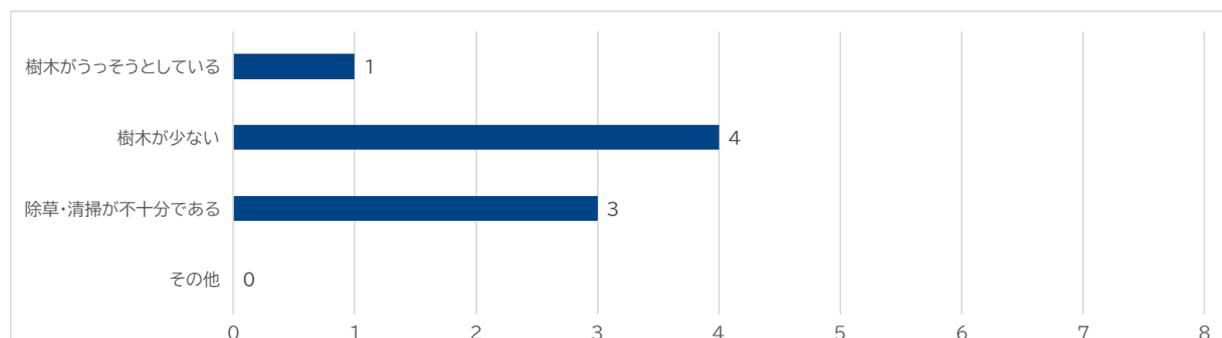
②身近な公園のみどりの充足度

質問	あなたは、身近な公園のみどりは十分だと感じますか(当てはまる選択肢 1 つを回答)
----	---

		とてもそう思う	そう思う	どちらでもない	そう思わない	全くそう思わない	わからない
身近な公園の利用頻度	総計	11 (13%)	46 (53%)	19 (22%)	7 (8%)	1 (1%)	3 (3%)
	毎日	2 (50%)	1 (25%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (25%)	0 (0%)
	週に数回	1 (11%)	5 (56%)	3 (33%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
	月に数回	3 (13%)	18 (75%)	2 (8%)	1 (4%)	0 (0%)	0 (0%)
	年に数回	4 (20%)	8 (40%)	5 (25%)	2 (10%)	0 (0%)	1 (5%)
	ほとんど利用していない	1 (3%)	14 (47%)	9 (30%)	4 (13%)	0 (0%)	2 (7%)



質問	前問について、「そう思わない」「全くそう思わない」と回答した理由(当てはまる選択肢すべてに回答)
----	--



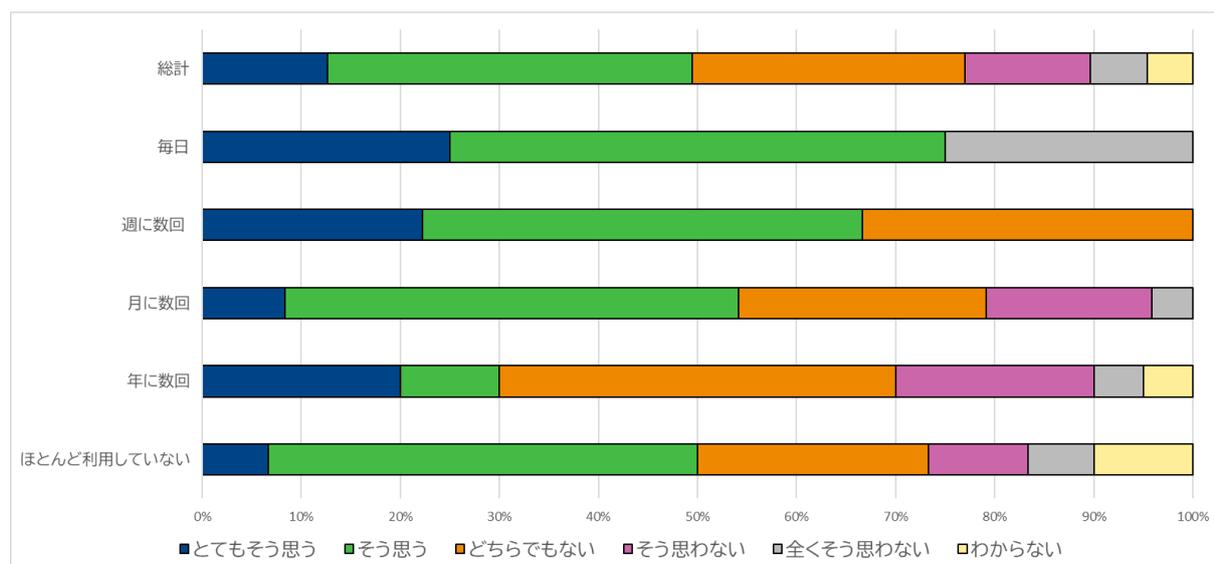
・全体では「そう思う」が 53%と最も多く、「とてもそう思う」の 13%と合わせると 66%がみどりは十分だと感じています。

・「そう思わない」「全くそう思わない」は合計で 9%となっており、理由としては「樹木が少ない」(4 人)が最も多くまっていますが、一方で「樹木がうっそうとしている」(1 人)と感ずる人もいます。また「除草・清掃が不十分である」(3 人)が挙げられています。

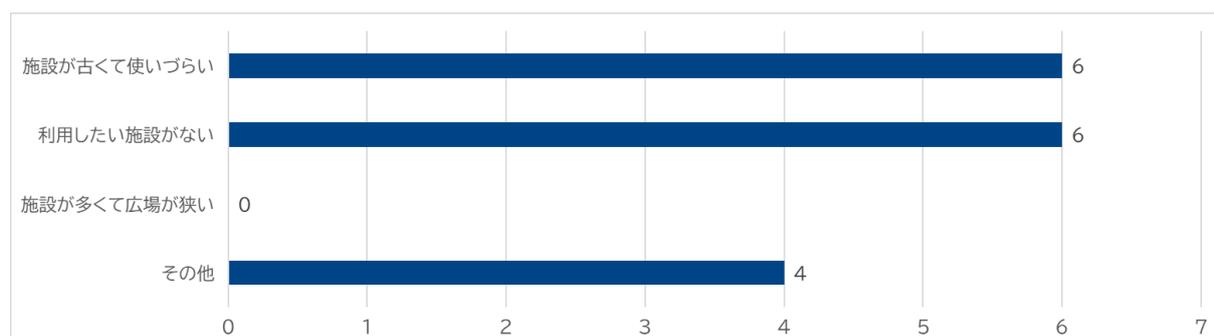
③身近な公園の施設の充足度

質問	あなたは、身近な公園の施設は十分だと感じますか(当てはまる選択肢 1 つを回答)
----	--

		とてもそう思う	そう思う	どちらでもない	そう思わない	全くそう思わない	わからない
身近な公園の利用頻度	総計	11 (13%)	32 (37%)	24 (28%)	11 (13%)	5 (6%)	4 (5%)
	毎日	1 (25%)	2 (50%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (25%)	0 (0%)
	週に数回	2 (22%)	4 (44%)	3 (33%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
	月に数回	2 (8%)	11 (46%)	6 (25%)	4 (17%)	1 (4%)	0 (0%)
	年に数回	4 (20%)	2 (10%)	8 (40%)	4 (20%)	1 (5%)	1 (5%)
	ほとんど利用していない	2 (7%)	13 (43%)	7 (23%)	3 (10%)	2 (7%)	3 (10%)



質問	前問について、「そう思わない」「全くそう思わない」と回答した理由(当てはまる選択肢すべてに回答)
----	--

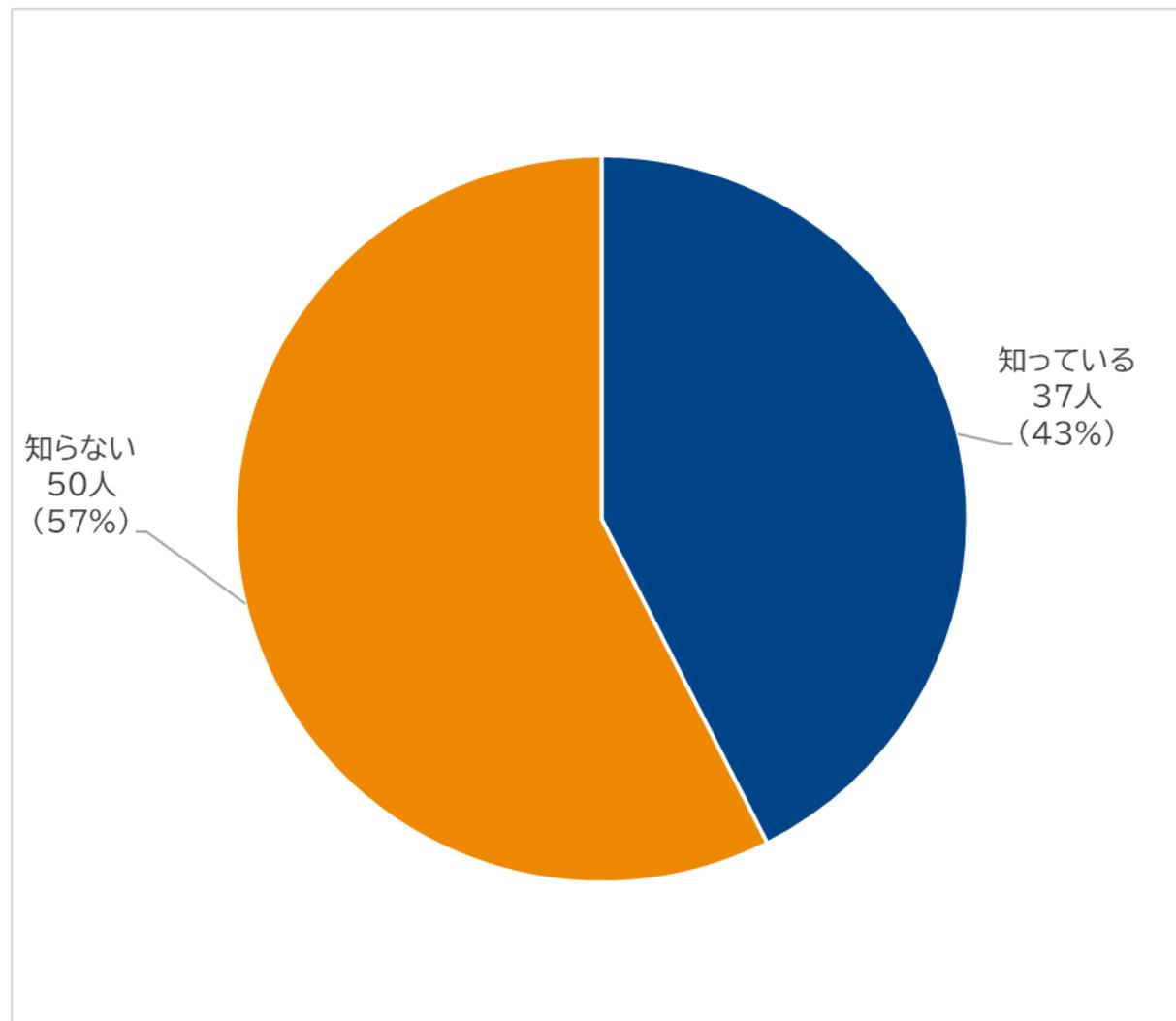


- ・全体では「とても思う」が 13%、「思う」が 37%となっており、合計で 50%が施設は十分だと感じています。
- ・「そう思わない」「全くそう思わない」は合計で19%となっています。
- ・理由としては、「利用したい施設がない」と「施設が古くて使いづらい」がそれぞれ同数(6票)で最も多く挙げられています。

3 維持管理活動について

(1) 公園愛護会などの認知度

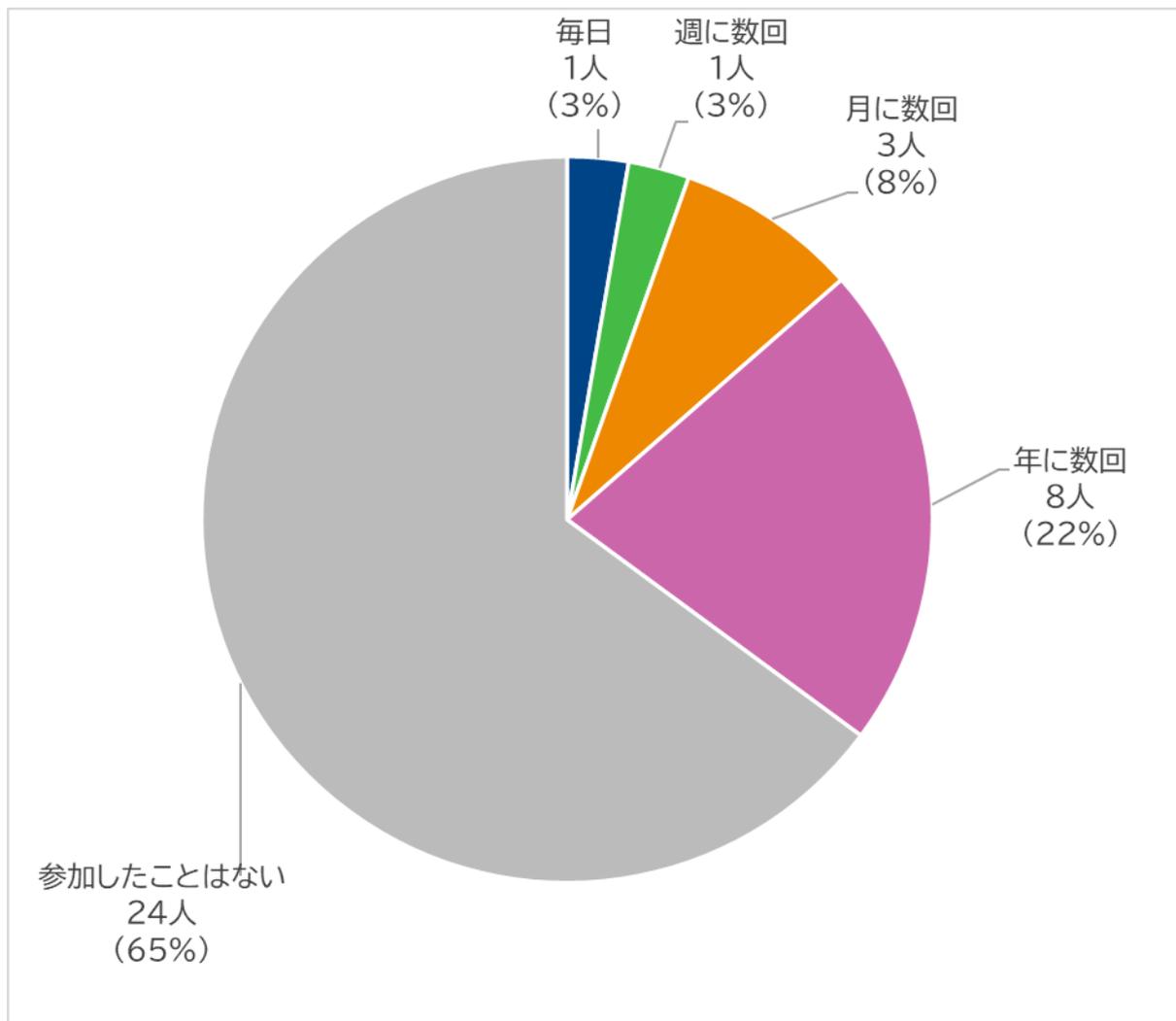
質問	あなたは公園愛護会など、公園の維持管理活動を行っている団体を知っていますか (当てはまる選択肢 1 つを回答)
----	--



・公園愛護会などの維持管理活動を行う団体を「知っている」と回答した人は全体で 43%にとどまり、「知らない」が 57%と過半数を占めています。

(2) 公園愛護会などの参加頻度

質問	前問の【公園愛護会などの認知度】について、「知っている」と回答された方にお聞きします。その活動にはどのくらいの頻度で参加していますか(当てはまる選択肢 1 つを回答)
----	---

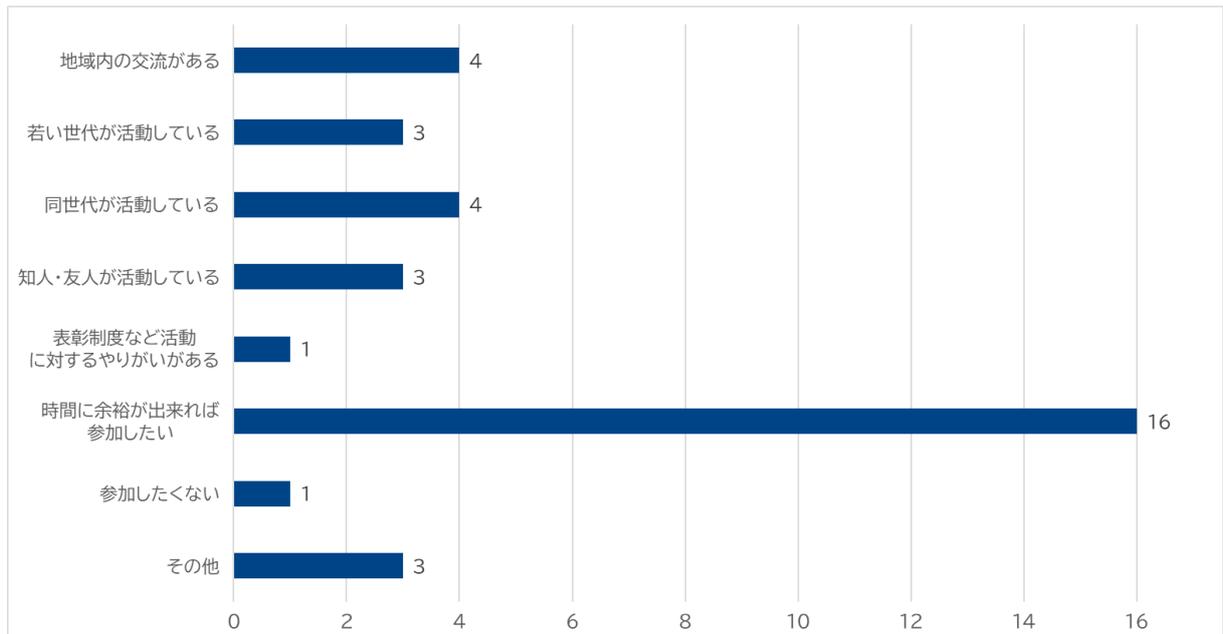


(n=37)

- ・「知っている」と回答した人のうち、65%が「参加したことはない」と回答しており、実際の活動への参加は非常に少なくなっています。
- ・参加頻度も「年に数回」が 22%と最も多く、日常的な参加はわずかです。

(3) 公園管理活動への動機づけ

質問	前問の【公園愛護会などの参加頻度】について、「参加したことはない」と回答された方にお聞きします。そのような管理活動について、どのような内容であれば参加してみたいと思いますか(当てはまる選択肢すべてを回答)
----	--



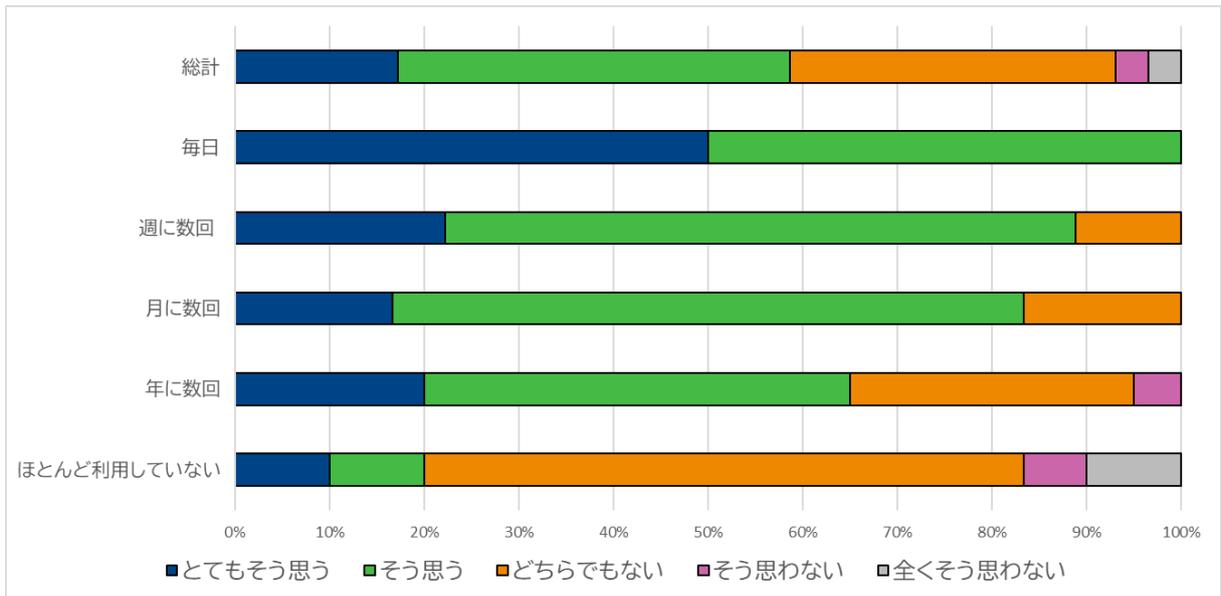
(n=35 複数回答)

・「参加したことはない」と回答した人が、どのような内容であれば参加したいかという質問では、「時間に余裕が出来れば参加したい」が最も多く(16票)、次いで「地域内の交流がある」(4票)、「同世代が活動している」(4票)、「若い世代が活動している」(3票)、「知人・友人が活動している」(3票)が挙げられています。

4 身近な公園に対する愛着について

質問	ここまでの質問を踏まえて、あなたは市内の身近な公園に愛着を感じますか(当てはまる選択1つを回答)
----	--

		とてもそう思う	そう思う	どちらでもない	そう思わない	全くそう思わない
身近な公園の利用頻度	総計	15 (17%)	36 (41%)	30 (34%)	3 (3%)	3 (3%)
	毎日	2 (50%)	2 (50%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
	週に数回	2 (22%)	6 (67%)	1 (11%)	0 (0%)	0 (0%)
	月に数回	4 (17%)	16 (67%)	4 (17%)	0 (0%)	0 (0%)
	年に数回	4 (20%)	9 (45%)	6 (30%)	1 (5%)	0 (0%)
	ほとんど利用していない	3 (10%)	3 (10%)	19 (63%)	2 (7%)	3 (10%)

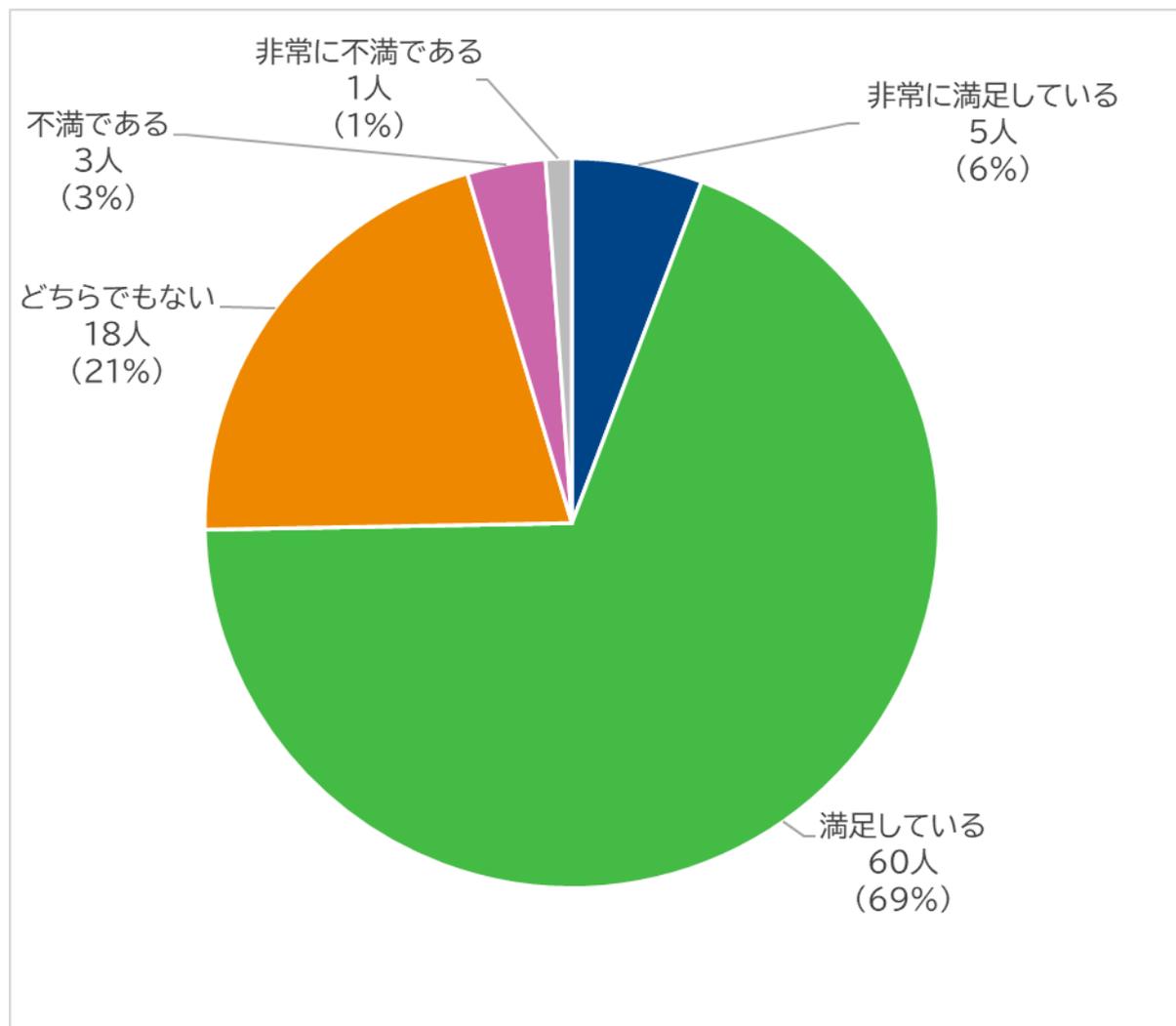


- ・全体では「そう思う」が 41%と最も多く、「とてもそう思う」の 17%と合わせると 58%が身近な公園に愛着を感じています。
- ・「どちらでもない」も 34%と一定数、存在します。
- ・利用頻度が高い層ほど愛着を感じている割合が高い傾向にあります。

5 総合的な満足度について

(1) 総合的な満足度

質問	ここまでの質問を踏まえて、あなたは市内全体のみどりに満足していますか(当てはまる選択肢1つを回答)
----	---



- ・全体では「満足している」が 69%と最も多く、「非常に満足している」の6%と合わせると75%が市内全体のみどりに満足しています。
- ・「不満である」「非常に不満である」は合わせて 4%と非常に少なくなっています。

IV 全体考察

本市では、令和3年度に、市内の公園緑地事業の根幹となる緑の基本計画(以下、「基本計画」)を改定し、令和12年度を目標に、基本計画に基づいた適切なみどりづくりに取り組んでいます。この基本計画の中間評価のため、本アンケート調査を実施しました。

基本計画において「みどりの質」を評価する指標として「身近な公園の満足度」、「身近な公園への愛着」を設定しています。

前回、令和2年度のアンケート調査と比較すると「身近な公園の満足度」は48%(令和2年度のアンケート調査)から53%(今回のアンケート調査)に、「身近な公園への愛着」は52%(令和2年度のアンケート調査)から58%(今回のアンケート調査)と上昇しています。

今回のアンケート調査の結果から「身近な公園の満足度」、「身近な公園への愛着」は「公園の利用頻度」が高いほど満足度、愛着ともに高くなる傾向があることが確認されました。

「公園の利用頻度」毎の属性の特徴を把握し、それらを高める方法を考察します。

1. 利用頻度利用の向上について

身近な公園やその他の市内公園の利用頻度は全体的に高いとはいえません。「ほとんど利用していない」「年に数回」の利用層が過半数を占めており、利用目的も「散策や休憩」といった受動的なものが中心です。一方で、利用頻度の高い層では身近な公園を健康増進活動や軽微な運動、ペットの散歩など具体的な目的のために活用しています。

身近な公園の利用頻度を高めるためには、公園を日常的に利用していない層のニーズを把握し、具体的な利用を促すきっかけづくりに取り組む必要があります。

2. 身近な公園のみどりと施設の充実度について

身近な公園の利用頻度と身近な公園のみどり、施設に対する充足度の関係を見ると、充足度に対する評価が高いほど、利用頻度が高い傾向が見られます。このことから、充足度を高めることで利用頻度を高めることができると考えられます。

みどりの充足度に関する不満点としては「樹木が少ない」「除草・清掃の不十分さ」が挙げられており、みどりの量の確保に加え、維持管理の質の向上がみどりに対する満足度を高める上で重要であると考えられます。

身近な公園施設の充足度については「利用したい施設がない」「施設が古くて使いづらい」といった不満が挙げられています。身近な公園の主たる利用者となる周辺居住者の利用目的に合わせた施設の整備、更新が求められていると考えられます。

3.公園愛護会活動への参加促進について

身近な公園の維持管理において、地域住民で公園の維持管理活動を行う公園愛護会は大きな役割を果たしています。

今回のアンケートでは公園の利用頻度の多寡に関係なく、公園愛護会の認知度は低く、また認知していても参加経験がない人が大半です。

公園愛護会への参加条件として「時間に余裕ができれば参加したい」が挙げられています。それぞれの多様な生活時間の中で個人でも参加できるような内容、形態、時間での活動の仕組みづくりを行うことで愛護会活動の裾野が広がる可能性があります。

また「地域内の交流」や「同世代・知人友人の参加」も参加のきっかけになることが示されており、公園の利用を通じた新たなコミュニティ形成が公園愛護会活動の活性化につながる可能性があると考えられます。

4.利用者層に合わせた公園環境づくり

今回のアンケートでは高頻度利用者が多い高齢者層では「休息・リラックス」「ペットの散歩」の利用が多く、「健康遊具等による健康増進活動」の利用は少ない結果となりました。高齢者層では積極的な運動よりも例えば散歩の途中の休憩場所等のような利用が望まれており、公園内に立ち寄り動機付けとなるような、心地よい環境を維持することが必要だと考えられます。

5. まとめ

今回のアンケート結果からは、本市の公園緑地事業が一定の成果を上げつつも、さらに市民の公園に対する満足度、愛着を高めるため、解決すべき課題が見えてきました。これらの課題に対する取り組みを通じて、全ての市民がそれぞれのライフスタイルに合わせて公園を利用し、心豊かな生活を送れるような「みどりのまちづくり」を着実に推進していくことが求められます。今回の調査結果については、今後の公園緑地行政の参考とさせていただくとともに、本調査内容については、継続調査を行い、みどりに対する市民意識の変化を評価することで、今後の適切な市政運営への活用を図ります。

【市政モニターに関すること】

総務市民局広聴課（TEL：093-582-2527）

【アンケートに関すること】

都市戦略局緑政課（TEL：093-582-2466）